

## 瑞の会

絹製寝具・水晶加工品の製造(委託)・販売

## 絹製品の良さに魅了され

## 納得のいく素材・製法で絹製寝具を開発

経験から「絹は健康に良い」と確信

小田急線成城学園前駅からバスと徒歩で約15分、仙川沿いの閑静な住宅街に立つマンションの一室に「瑞の会」を訪ねた。同会は代表の松居美都さん(65歳)とご主人の松居俊治さん(56歳)が二人三脚で主に絹製寝具の製造(委託)・販売を行っている。

「絹は吸湿性、放湿性に優れており、肌にべたつかないので心地良く、夏は涼しく冬は温かい。抗菌性や抗酸化性があり、また紫外線をカットするなど人の体にやさしい天然の健康素材です」と話す松居代表がふだん身に着けているものは、全部、絹、しかも色は白のみだそう。

「染料はアトピー反応を起こしかねないし、白は清潔感がありますからね。もちろん、絹製寝具も白のみです」

北海道生まれの松居代表は、「子ども頃から肌が弱く、化学繊維や麻、綿にもアレルギー反応を起こし、かゆくなったりしたので親から絹製品を着せられていた」という。長じて上京し、「忙しく働いているうちに、体調を崩してしまったことから、絹製品の良さを思い出し、再び絹の衣類を身に着け、



「布団カバーの留め具にはファスナーではなく絹製の紐を使い、製品に付けるネームの文字も絹糸で刺繍しています」と、絹へのこだわりを語る松居美都代表

絹製寝具を用いたところ、体調が良くなり、絹は体に良いと確信しました」と松居代表。

そんな話を健康に関心のある仲間たちに話していると、絹製寝具を作ってくれないかという声が寄せられるようになった。その事業化のために創業したのが「瑞の会」である。

糸一本にまで絹にこだわった究極製品

とはいえ、創業当初は絹の入手方法もわからなかった。情報を集め、伝手を頼って飛び歩いた。「作るからには最高品質の絹を使いたい」とこだわったので苦労は倍加したが、福島県川俣町の織物会社の協力が得られることになった。川俣町は1400年ともいわれ、伝統を誇る「絹の里」である。織り方



「入金真綿」の品質を確かめる松居美都代表とご主人の松居俊治さん。ご主人も肌が弱いため、絹製品を愛用しているそうだ



福島県産入金真綿/全国唯一の袋状真綿で、その生産はすべて手作業で行われることから独特の風合いと「練れ」をもち、高級寝具、医療用製品など、特殊な分野で使われている



①手挽き真綿敷き布団／生地・中綿（入金真綿2kg入り）共に絹100%（100×200cm）、②手挽き真綿掛け布団／生地・中綿（入金真綿1.5kg入り）共に絹100%（200×210cm）、③布団カバー、④シーツ、⑤ピローケース。①～⑤一式400,000円。（\*サイズはオーダーメイド可）



にもこだわり、縞子織り（サテン）という、艶があつて肌に一番やさしいといわれる織り方にした。注文の少ない織り方のため織物会社も苦勞し、納得できる品質が得られるまでには時間がかかったが、粘り強く希望を伝えた。中綿は、真綿の中でも最高級品といわれる福島県の「入金真綿」を使つてい

る。繭を煮て手作業で袋状に引き伸ばす、昔ながらの製法で作られるもので、手に取ってみると、信じられないくらいに柔らかくて軽い。「強度の関係で布団の一部に綿糸を使用しますが、ほかはすべて絹糸です。福島県の川俣町の絹と、入金真綿」という高級素材を使用するだけではなく、



舍利石入りの天然ロック・クリスタル（中央、105,000円～）と水晶ペンダント2種



天然ロック・クリスタルに添付されている(社)宝玉石金属協会発行の鑑別書

「どんなことでも手抜きはしたくない」との思いから、とことん手作業にこだわった究極の絹製寝具です」  
当初は夫妻で手作りをしていたが、現在は川俣町の寝装具会社に製造を委託している。手作りなので受注から納品までに2週間ほどかかる。注文は、自然食の同好者など150人ほどの仲間からの口コミ、あるいは通販が主で、利用者からは好評だという。  
「絹の良さを多くの人に知っていたただきたいというのが瑞の会の活動の原点です。良い物を販売したいという気持ちが強ければかりに、時には商売のことも忘れてしまいます」と、松居代表は苦笑混じりに話す。  
なお、「瑞の会」では絹製寝具のほか、ネックレスなど水晶加工品の製造（委託）・販売も行っており、特注デザインにも応じている。

#### 企業DATA

- 事業所名：瑞の会
- 所在地：〒157-0074 東京都世田谷区大蔵5-6-12-102
- TEL：03-3415-3617
- FAX：03-3415-3676
- 創業：平成2年5月
- 代表者：松居美都
- 従業員数：2名
- 事業内容：絹製寝具・水晶加工品の製造（委託）・販売